

データマーケター学科 2025 年度

科目名	ビジネス実務ⅢA			科目コード	13150501	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2 年次	前期	40	2	無
授業の概要・目的	日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。 そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。					
到達目標	自ら即就職活動ができるようになり、社会人として必要なマナー（期日厳守）・礼儀（挨拶状）を身に付け、早期出社ができるようにする。 そして、漢字力・文書力を身に付け活用できる。					
評価項目	期末試験（65%）、出欠席（5%）、提出物（30%）					
評価基準	期末試験：各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「改訂版 ビジネスマナー基本テキスト」（キャリア総研） 「就活支援ブック 社会探求編」（株式会社 キャリタス）					
関連科目						
授業計画	1. ビジネス文書の基本マナー 7コマ ①ビジネス文書：社内文書・社外文書 ②ビジネス文書：挨拶状の書き方（暑中見舞い・年賀状・年末挨拶状など） 2. 慶弔・贈答・会食のマナー 7コマ 3. 卒業研究準備 10コマ					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	Office 実務			科目コード	13123801	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2 年次	前期	32	2	無
授業の概要・目的	Microsoft の Office（Word、Excel）のパソコン実務操作スキルを身に着け、仕事の効率化・スピードアップをめざす。					
到達目標	【指導方法】 ・ Word、Excel を使い、ビジネス文書や資料の効率のよい作成の仕方を指導する。 【学生に期待すること】 ・ 効率よく資料を作成するスキルを身に着ける。					
評価項目	・ 課題（75%） ・ 提出物（20%） ・ 出欠席（5%）					
評価基準	Word、Excel を使ったビジネス文書や資料を効率よく作成する。ことができるかを課題提出を実施し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	森谷 郁恵			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	・ Office ソフトで作る文書ドリル ・ 実践ドリルで学ぶ Office 活用術 授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目	Excel 演習Ⅰ・Ⅱ、Word 演習、Excel 応用					
授業計画	ビジネス文書や資料を作成するためのポイントや、作業手順を指導し、実践する。					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	Excel 応用			科目コード	13123301	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2 年次	前期	60	4	無
授業の概要・目的	Microsoft Office Specialist の Excel 2019 Expert 検定の全員取得をめざす。Excel の機能を包括的に学習していくことにより、実践的な機能の活用がスムーズに行えるようにスキルと経験を身に付けさせる。					
到達目標	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、就職後に求められる Excel スキルの教示。 【学生に期待すること】 ・実社会での Excel の役割について理解すること。 ・Excel の利便性を理解すること。					
評価項目	・実技試験（MOS Excel 2019 Expert）（70%） ・検定（20%） ・提出物（5%） ・出欠席（5%）					
評価基準	Microsoft Office Specialist Excel 2019 Expert レベルの試験、課題提出を実施し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール 6 年					
テキスト・参考文献	「よくわかるマスター MOS Excel Expert 365&2019 対策テキスト＆問題集」（FOM 出版）					
関連科目	Excel 演習Ⅰ・Ⅱ					
授業計画	・ブックのオプションと設定の管理 ・ユーザー定義の表示形式やレイアウトの適用 ・高度な機能を使用した数式の作成 ・高度な機能を使用したグラフやテーブルの作成 ・模擬試験					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	社会調査			科目コード	13113101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2 年次	前期	52	3	無
授業の概要・目的	社会学の観点を学習し、データの収集方法を身に着ける。企業と連携し、アンケートを作成、調査、収集、分析という一連の流れを行うことにより、実社会で生きる力を身に着ける。 企業に対する提案を作成し、評価をいただく。					
到達目標	【指導方法】 企業からの課題を提示。提案、フィードバックの繰り返しで精度をあげる 【学生に期待すること】 ・これまでの統計分野の学習を応用する。 ・マーケティングの観点からも、情報を集める目的、分析結果の報告が認識できるようにする。					
評価項目	・企業からの評価 60% ・提出物 35% ・出欠 5%					
評価基準	データを収集・分析し、データに基づく提案ができるようになる。提案に対する。企業からのフィードバックによる評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	玉江 孝弘			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニア 2 年、サービス開発 6 年、事業企画 3 年、経営企画 4 年					
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	・統計学の知識の復習 ・企業と連携したアンケート作成、実施 ・アンケート結果の分析、評価					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	IT パスポート特講			科目コード	13130701	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2 年次	前期	72	4	無
授業の概要・目的	IT パスポート取得に向けた検定対策授業を行う。					
到達目標	演習、過去問題に取り組み、IT パスポートの得点を向上させる。 Web サイトと電子媒体を活用し、学生の取り組みの効果を高めるとともに、検定取得に向けたモチベーションを保ち、周囲と協力して取り組む姿勢を身に着けることも目指す。					
評価項目	・ 確認テスト／模擬試験（50%） ・ 課題提出（30%） ・ IT パスポート試験の得点（20%）					
評価基準	IT パスポート取得レベルの知識の習得がなされているか、対策期間中の課題が提出できているかで評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	よくわかるマスター IT パスポート試験対策テキスト＆問題集 各年度における過去問					
関連科目	IT パスポート概論					
授業計画	・ IT パスポート ストラテジ分野 ・ IT パスポート マネジメント分野 ・ IT パスポート テクノロジ分野					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	ビジネス法務Ⅰ			科目コード	13123501	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2 年次	前期	32	2	無
授業の概要・目的	ビジネスに関連する最低限の法律の知識を理解していく。 「ビジネスパーソンとしての業務上理解しておくべき基礎的法律知識をする人材をめざし、習得していく。					
到達目標	テキストを用いインプット講義、確認テスト、問題集を用いアウトプットの練習を行う。					
評価項目	・ 期末試験 (75%) ・ 各単元の確認テスト (15%) ・ 提出物 (5%) ・ 出欠席 (5%)					
評価基準	ビジネスに関連する。最低限の法律の知識に関する。試験、課題提出を実施し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	森谷 郁恵			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「ゼロからスタート！ 武山茂樹のビジネス実務法務検定試験 1 冊目の教科書」KADOKAWA ・ 授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目						
授業計画	①就職活動の際の留意点～労働法の基礎～ ②労働法 ③法人と会社					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	プレゼンテーション演習 II			科目コード	13110801	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2 年次	前期	37	2	無
授業の概要・目的	外部に向けたプレゼンテーションをグループで作成。 各自で役割を明確に意識する。					
到達目標	相手に伝わるプレゼンテーション作成のために、考えて作ることができる。 前に立って話すという経験を重ね、人前に立つ抵抗感をなくす。					
評価項目	・ 提出物（50%） ・ 発表内容（25%） ・ 相互評価（20%） ・ 出席点（5%）					
評価基準	外部発表に向けたプレゼンテーション作成およびプレゼンで評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	図解&事例で学ぶプレゼンの教科書					
関連科目						
授業計画	グループワークによるプレゼンテーションの実施 テーマごとにグループ編成を変える					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	ビジネスプランニングⅡ			科目コード	13122101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2 年次	前期	77	4	有
授業の概要・目的	ビジネスプランコンテストに向けたアイデアをまとめ、プレゼンテーションを作る。					
到達目標	自由な発想でアイデアを出すことから始め、それをビジネスに活かすことができる（利益を生む） 段階まで作り上げることで、新しいビジネスプランを考える際のノウハウを学び、実践する。また、グループで一体となって取り組むことで協調性を育む。					
評価項目	・ 提出物（80%） ・ 相互評価（15%） ・ 出欠点（5%）					
評価基準	ビジネスプランコンテストへの応募し、提出プランで評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	山本 里志／小林 聖治			非常勤／常勤		
実務経験者による授業	約 20 年間の流通小売業での経験を生かし財務分析・商品開発・市場分析・他社分析・販売計画の作成などの支援業務を授業に生かす。					
テキスト・参考文献	ビジネスモデル 2.0 図鑑					
関連科目						
授業計画	ビジネスプランコンテストへの応募を通じて、アイデアの創出、相手にわかりやすく伝えるプレゼンテーションを行う。					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	IT パスポート概論				科目コード	13112701	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携	
必修	演習	2 年次	前期	90	4	無	
授業の概要・目的	IT パスポート取得に向けた学習を行う。IT を正しく理解し、業務に効果的に IT を活用することのできる“IT 力”を身に着ける						
到達目標	社会で利用する情報機器及びシステムを把握し、活用することができる人材を目指す。企業内、普段の生活において、安全に情報を活用するために、関連法規や情報セキュリティに関する各種規定に従って行動できるようになる。						
評価項目	・ 確認テスト／期末試験（80%） ・ 課題（15%） ・ 出席点（5%）						
評価基準	IT パスポートの取得レベルの知識があるかを試験、課題提出で評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。						
担当教員	小林 聖治			常勤			
実務経験者による授業							
テキスト・参考文献	よくわかるマスター IT パスポート試験対策テキスト&問題集						
関連科目	IT パスポート特講						
授業計画	・ IT パスポート ストラテジ分野 ・ IT パスポート マネジメント分野 ・ IT パスポート テクノロジ分野						

データマーケター学科 2025 年度

科目名	ビジネス実務IVA			科目コード	13150601	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2 年次	後期	31	2	無
授業の概要・目的	1 年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなるレベルアップを目指すため、該当する検定を受験する。 この知識と今までの授業や実習などで得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。 また、社会人としての心構えを身につける。					
到達目標	任意検定の受験 ①社会人常識マナー検定 ②ビジネス文書検定 ③秘書検定 ④漢字検定					
評価項目	期末試験（95%）、出欠席（5%）					
評価基準	各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「改訂版 ビジネスマナー基本テキスト」（キャリア総研） 「就活支援ブック 社会探求編」（株式会社 キャリタス）					
関連科目						
授業計画	1. テーブルマナー 2 コマ 2. 検定対策 10 コマ ①社会人常識マナー検定 ②ビジネス文書 ③秘書検定 ④漢字検定					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	Access 概論			科目コード	13113001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2 年次	後期	32	2	無
授業の概要・目的	Microsoft Office Specialist の Access2019 検定の全員取得を目指す。 Access の機能を包括的に学習していくことにより、実践的な機能の活用がスムーズに行えるようにスキルと経験を身に付けさせる。					
到達目標	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、就職後に求められる Access スキルの教示。 【学生に期待すること】 ・実社会での Access の役割について理解すること。 ・Excel と Access との違い、および、データベースの利便性を理解すること。					
評価項目	・実技試験（MOS Access2019）（20%） ・期末試験（70%） ・出欠席（5%） ・提出物（5%）					
評価基準	・Microsoft Office Specialist Access2019 レベルの試験、課題提出を実施し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール 6 年					
テキスト・参考文献	「よくわかるマスター MOS Access 365&2019 対策テキスト&問題集 改訂版」 （FOM 出版）					
関連科目						
授業計画	・データベースの作成と管理 ・テーブルの作成 ・クエリの作成 ・フォームの作成 ・レポートの作成					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	マーケティングⅢ			科目コード	13131001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2 年次	後期	30	2	無
授業の概要・目的	前期で学んだ知識を活かし、SNS マーケティングを主軸としたマーケティング手法について学ぶ。					
到達目標	テキストを用いた知識のインプット。 それを活かしたインスタアカウントの運用を実践。					
評価項目	・ 後期試験 80% ・ 出欠席 10% ・ 授業態度 10%					
評価基準	マーケティングの仕組みを理解したうえで実際の SNS マーケティングに活かせるかを試験で評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール 6 年					
テキスト・参考文献	「SNS マーケティング検定 問題集」（株式会社サーティファイ）					
関連科目						
授業計画	・ デジタルマーケティングの基礎知識 ・ SNS の媒体特性 ・ 投稿作成 ・ 広告、キャンペーン ・ ユーザコミュニケーション ・ プロジェクトマネジメント					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	ビジネス法務Ⅱ			科目コード	13123601	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2 年次	後期	32	2	無
授業の概要・目的	ビジネスや日常生活においてますます必要とされる著作権について、著作権が何のためにあるのか、どんな種類の著作権があるのか、そもそも著作権はどんな仕組みなのかについて学んでいく。 そして、なぜ私たちが著作権を尊重しなければならないのかを考えるきっかけにし、社会人として著作権を理解した上で実務に携わることができるようにする。					
到達目標	テキストを用い知識をインプットするために講義を実施する。確認テストを用い、知識の定着を図る。					
評価項目	・ 期末試験（90%） ・ 提出物（5%） ・ 出席率（5%）					
評価基準	著作権の種類や、著作権法の目的について理解する。ことができるかを試験、課題提出で評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	森谷 郁恵			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「ビジネス著作権検定 公式テキスト」ウイネット					
関連科目						
授業計画	①著作権の概要 ②著作物 ③著作者 ④著作者の権利 ⑤保護期間 ⑥著作権の譲渡と利用許諾 ⑦著作権の制限 ⑧著作隣接権 ⑨著作権の侵害 ⑩知的財産権制度					

データマーカー学科 2025 年度

科目名	プレゼンテーション演習Ⅲ			科目コード	13123901	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2 年次	後期	37	2	無
授業の概要・目的	セミナー形式の発表を行える。発表対象人数が 100 名近くを想定したプレゼンテーションを行えるようにする。					
到達目標	大人数を想定した環境の中でプレゼンテーションを行う。 高度なテクニックを駆使して、プレゼンテーションを行う。 卒業研究で取り組んでいる内容を発表できる形を作る。					
評価項目	・ 提出物（40%） ・ 発表内容（35%） ・ 相互評価（20%） ・ 出席点（5%）					
評価基準	一定レベル以上のプレゼンテーション技術を取得しているかを課題提出、プレゼンで評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	玉江 孝弘			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニア 2 年、サービス開発 6 年、事業企画 3 年、経営企画 4 年					
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	グループワークによるプレゼンテーションの実施 テーマごとにグループ編成を変える					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	卒業研究Ⅰ			科目コード	13120601	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2 年次	後期	61	4	有
授業の概要・目的	学科の集大成として、これまで学習してきた内容をもとに、研究・成果物作成を行う。					
到達目標	【指導方法】 テーマを与え、学生に考えさせる。レベルを維持するために、教員がチェックを行う。 【学生に期待すること】 ・問題意識をもって取り組む。					
評価項目	・提出物（90%） ・出欠点（5%） ・授業態度（5%）					
評価基準	研究レポートの提出 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	企業の取り組み事例や成果などを参考に、これまで培った知識をもとにレポートを作成する。					

データマーカー学科 2025 年度

科目名	卒業研究Ⅱ			科目コード	13121301	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2 年次	後期	64	4	有
授業の概要・目的	課題に対するレポート作成 卒業研究発表会に向けて。グループ毎で研究を行い、成果を発表する					
到達目標	各自、問題意識をもって取り組み、それをグループで共有し、協働しながらつくりあげることができる。学びの集大成として、最後までやり切るという意識を養う。					
評価項目	・ 提出物（40%） ・ 発表内容（35%） ・ 相互評価（20%） ・ 出席点（5%）					
評価基準	・ 研究レポートの提出 ・ プレゼンテーションの実施 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	卒業研究発表会に向けて、ビジネスプランの構築、プレゼンテーションの作成を行う。					

データマーカー学科 2025 年度

科目名	データ分析演習Ⅱ			科目コード	13123701	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2 年次	後期	36	2	無
授業の概要・目的	データマーケティング育成に伴う、データの活用方法、POS データの分析手法について学習する。データから、情報をよみとり、提案内容を作成することができる。					
到達目標	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、データ分析に求められる考え方の教示。 【学生に期待すること】 ・ データ分析の考え方について理解すること。 ・ 実社会での情報活用や問題解決の手法の必要性を理解する事。					
評価項目	・ 期末試験 (80%) ・ 確認テスト (10%) ・ 出欠席 (5%) ・ 提出物 (5%)					
評価基準	・ データを分析し、その数値分析から売上を伸ばす提案ができるようになるかを試験、課題提出で評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	ビジネス統計スペシャリスト エクセル分析一般 株式会社 オデッセイコミュニケーションズ Excel で学ぶ 実践ビジネスデータ分析					
関連科目	データ分析Ⅰ・Ⅱ 統計概論 データ分析演習Ⅰ					
授業計画	①1 変量のデータのまとめ方 ②2 変量のデータのまとめ方 ③仮説検定 ④回帰分析					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	統計概論			科目コード	13112802	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2 年次	後期	35	2	無
授業の概要・目的	日本統計学会が実施する、統計検定 3 級レベルの統計学の知識と理解を目指す。統計を学習していくことにより、データ分析の手法を身につけ、身近な問題に活かす力を身に付けさせる。					
到達目標	身近な問題に対してデータを通して正しく内容を理解すること、また情報を集めたのちにその目的、分析結果の報告が認識できるようにする。					
評価項目	・ 確認テスト／期末試験（80%） ・ 課題（15%） ・ 出席点（5%）					
評価基準	統計検定 3 級レベルの問題を解くことができるかを試験、課題提出で評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	初歩からしっかり学ぶ実習統計学入門 統計検定 3 級 過去問題集 統計学の図鑑					
関連科目	データ分析Ⅰ・Ⅱ 統計概論 データ分析演習Ⅰ・Ⅱ					
授業計画	①データの客観的な判断 ②統計に関する知識に基づいた活用 ③統計を用いた問題解決手法					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	ペン字上級			科目コード	13190001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	日常生活に役立つ行書（美しいつづけ字）を学ぶ。 行書のルールを覚え、一筆箋、封筒、年賀状、のし袋（筆ペン）を書いてみる。					
到達目標	書き込み式のテキストを使用。 行書のポイント、ルールの解説。 反復練習したものを個別指導により上達をはかる。日常生活に役立つ課題で、楽しく学び続ける k 十を期待する。					
評価項目	一筆箋 50%、封筒 10%、ハガキ表 10%、ハガキ裏 10%、のし袋（筆ペン） 10%、出欠席 5%、感想 5%					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	三宅 佳与			非常勤		
実務経験者による授業	書塾で教鞭をとり 30 年 現在は学校教員の指導講座ももつ					
テキスト・参考文献	大人字にかわる ペン字練習帳（新星出版社）					
関連科目						
授業計画	1. 美しい行書のルール 2. 漢字の正しいくずし方（部首別） 3. ひらがなのリズム 4. ひらがなの連綿（つづけ方） 5. 封筒、ハガキの表書き 6. はがきの裏（年賀状、暑中見舞い、メッセージカード） 7. 一筆箋 8. のし袋（筆ペン）					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	ビジネス英語			科目コード	13190001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	講義	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	グローバル社会が進む中、企業内の標準言語が英語になるなど、ビジネスにおいて英語を使う機会が増えている。ビジネスの場で、簡単な英語が話せる力や、メール文章を書く能力を身に付けることを目的としている。					
到達目標	・挨拶、依頼表現、電話取次を簡単な表現で出来るようになる ・メールで頻出の表現を使えるようになる					
評価項目	期末試験 90%、授業態度 5%、出席率 5%					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題から出題 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	佐藤 眞佐子			非常勤		
実務経験者による授業	民放局アナウンサー8 年。全国各地で高校生に英語英会話指導 20 年以上。英語スピーチコンテスト等での日英司会、トーストマスターズクラブでの日英スピーチ中四国大会優勝、全国大会ファイナリスト。日本ソムリエ協会認定ワインエキスパート資格を活かし、仏・豪ワイナリー訪問多数。 トーストマスターズクラブやワイナリー訪問を通じた異文化コミュニケーション経験も豊富。					
テキスト・参考文献	キクタン英会話（オフィス編）					
関連科目						
授業計画	1. 基本フレーズ 2. 基本フレーズ 3. あいさつ 4. 始業前 5. 日常業務 6. 備品・機器 7. 休憩 8. 来客・面会 9. 電話 10. 会議 11. 予定 12. アフター 5 13. ロールプレイ演習 14. ロールプレイ演習 15. 電子メール 16. 試験対策・重要表現					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	エクセル上級			科目コード	13190001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	Excel のスキルををあらゆるビジネスシーンで活用できるように、基礎知識から応用まで幅広く学び、PC スキルを社会で活かせる人材育成を目的とする。					
到達目標	関数を使った集計や分析、ピボットテーブルやマクロなど Excel の機能を活かした資料作成能力を身に着ける。					
評価項目	期末考査(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題から出題 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	近藤 敬輔			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目						
授業計画	1. Excel 基礎知識の確認 2. Excel 基礎知識の復習 3. ショートカットキーの活用 4. 関数の活用 (vlookup. sumif) 5. 機能の紹介(マクロ・ピボットテーブル) 6. 練習問題					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	医療事務			科目コード	13190001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	医療機関の役割、医療保険制度の仕組みを知り、簡単な医療費の計算方法を習得する。					
到達目標	医療保険制度の仕組みを理解する。 医療事務の業務内容を理解する。 簡単な医療費の計算を習得する。					
評価項目	期末試験 95%、出欠席 5%					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題から出題 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	矢ヶ崎 忍			常勤		
実務経験者による授業	医療機関にて約 8 年間、7 医事課に所属し各外来・入院受付、会計、診療報酬請求業務、クラーク業務を担当					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目						
授業計画	1. 医療機関の概要 2. 医療機関の仕事 3. 医療費の計算					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	RPA 実習			科目コード	13190001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	作業自動化ツールである RPA (Robot Process Automation) の構築を題材に、プログラムの思考力を養う。					
到達目標	事務作業の分析を行い、Power Automate Desktop に手順を登録して、実際に作業の自動化を行えるまでのスキルをつける。					
評価項目	レポート（90%）、授業態度（5%）、出欠席（5%）で評価をつける。					
評価基準	※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 優平			常勤		
実務経験者による授業	工場の監視・制御系システムの SE・PG として従事。その経験を活かし、グループでの活動も交えながら、社会人として組織での活動に活かせるよう講義する。					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目						
授業計画	1. 環境準備 業務自動化のメリットを考える 2. レコーダ機能を使ったフロー作成 3. EXCEL 作業を自動化 4. Web フォームへの自動化 5. 業務シーン別のテクニック理解 6. 自動化業務の作成、発表					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	情報リテラシー				科目コード	13190001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携	
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無	
授業の概要・目的	業務で役立つ Windows の便利な機能や、社会に出てから必要となるセキュリティ知識や AI の活用方法などについて学ぶ。						
到達目標	社会人になるにあたり教養、たしなみ、判断力、理解力等を身につける。						
評価項目	期末考査(90%)、授業態度(5%)、出欠席(5%)						
評価基準	期末試験：各単元の確認問題などから出題 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。						
担当教員	藤井 克俊、岡本 和也、近藤 進介				常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生が社会人として相応しい知識、マナーを理解できるように講義する。						
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。						
関連科目							
授業計画	1. Winidows の操作 2. 情報セキュリティ 3. AI の活用						

データマーケター学科 2025 年度

科目名	データマーケティング			科目コード	13190001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	データを根拠に考え、新しいアイデアを考案するための方策を学ぶ。Excel を活用した分析手法についても修得する。					
到達目標	データを基に読み込んだ情報についてまとめて発表することができる。					
評価項目	期末試験（95%）、出欠席（5%）で評価をつける。					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題などから出題 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小林 聖治、田中 光			常勤		
実務経験者による授業	実務経験：印刷会社にて企画営業として、企画提案、プレゼン、ディレクション業務をおこなってきた経験を活かし、実務に則した指導をおこなう。					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目						
授業計画	1. オリテ 2. ビッグデータとは 3. データの活用 4. グラフの作成 5. その他データの活用と各業界の関連 6. マーケティングの基礎・活用					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	ファイナンシャルプランナー			科目コード	13190001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	講義	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	身近なお金の知識やこれから必要になるお金の知識を学ぶ。投資など資産運用について基本的な知識を身につける。					
到達目標	学んだ知識を第三者に伝えることができる。用語が理解できる。					
評価項目	期末試験（95%）、出欠席（5%）で評価をつける。					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題などから出題 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤野 流光			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目						
授業計画	1. ライフプラン 2. リスクマネジメント 3. 金融資産 4. タックスプランニング 5. 不動産 6. 相続					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	一般知能			科目コード	13190001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	講義	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	数的推理・判断推理を論理的な思考から、解答する力を答練を通じて身につける。					
到達目標	いくつかの条件を整理して、答えを導き出していくという論理的思考力を身につけることが目標である。					
評価項目	期末試験 60%、確認テスト 35%、出席率 5%					
評価基準	確認テスト：各授業で行われる単元別確認テストで理解度をはかる。期末試験：数的処理能力を問う科目試験を行う。その試験結果により判定し、評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	武下 浩史			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目						
授業計画	1. 暗号 2. 速さ 3. 図形問題 4. 対応関係 5. 食塩水 6. 勝敗 7. うそつき					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	フラワーアレンジメント			科目コード	13190001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	フラワーデザインの基本的な知識を習得し、形や構成からテーマを表現する。					
到達目標	花への興味を深め、毎回デザインの構成理論を踏まえた上で作品を構成し植物の知識を身につける。					
評価項目	作品(90%)、授業態度(5%)、出席率(5%)					
評価基準	※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	永宗 教子			非常勤		
実務経験者による授業	フラワーアレンジメント実務30年					
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	1. 植物の扱い方 2. 吸水フォーム 3. テーブルアレンジ 4. 復習 5. ブートニア 6. ミニブーケ 7. リース					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	ゲームプログラミング			科目コード	13190001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	ゲームプログラミングを通じて論理的思考法を身に付ける					
到達目標	一見難しいプログラミングなども諦めずコツコツと積み上げていくことで完了させられることを体感する。					
評価項目	課題提出（95%） 出席率（5%）					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	宇野 光司			常勤		
実務経験者による授業	通販、介護、銀行等のシステム開発経験を活かし、学生が情報処理に関する基礎的知識を習得できるよう、講義を行う。					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目						
授業計画	1. Unity の概要 2. プログラミングとアルゴリズム 3. プログラミング環境構築 4. プログラミング実習 5. プログラミング改変					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	広告映像			科目コード	13190001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	会社の広報 SNS などに必要な写真の撮影、および動画制作を通して、情報や魅力をわかりやすく伝える力を身につける。					
到達目標	効果的な動画構成を理解して制作できるようになる。					
評価項目	課題提出（95%） 出席率（5%）					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	赤木 沙英子			常勤		
実務経験者による授業	CM 企画・制作 11 年 ディレクター9 年					
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	1. 動画制作の基本的な考え方 2. 動画制作の基本操作、 3. 課題：ドラマカット① 4. 課題：ドラマカット② 5. 課題：クラス動画					

データマーケター学科 2025 年度

科目名	ビジュアルデザイン			科目コード	13190001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	デザインアプリ Figma を使用。商業デザインの制作を通して、レイアウト、表現技法を学ぶ。					
到達目標	情報を適切に伝えるための視覚表現力を身につける。					
評価項目	課題提出（95%） 出席率（5%）					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	太田 真行			常勤		
実務経験者による授業	広告ディレクター：3 年					
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	1. 商業デザインの基本的な考え方 2. デザインアプリの基本操作 3. 課題：名刺 4. 課題：チラシ 5. 課題：ポスター					

データマーカー学科 2025 年度

科目名	世界情勢			科目コード	13190001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	自国の習慣や考えだけにとらわれることなく、他国の習慣・文化に共感し、異文化間での協力関係を構築する素地を身に付ける					
到達目標	ワークショップの中で異文化を理解・共感する姿勢を身につける。世界の問題を知り、自身の意見を発信できるようになる。					
評価項目	期末レポート 45%、課題レポート 50%、出欠席 5%					
評価基準	各授業の課題レポートと期末レポートにより総合的に評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目						
授業計画	1. 世界の言葉で「こんにちは」 2. 100人の村 3. あなたの夢は何ですか、私の夢は大人になるまで生きることです 4. 世界の問題 5. 世界の問題②					